

「説明可能な情報管理の考え方と その技法について」

yoshihiro.com

佐藤 慶浩

twitter.com/4416_310

2010年11月20日

Copyright 1995-2010 佐藤慶浩

1

発表者紹介

yoshihiro.com

佐藤 慶浩(さとう よしひろ)

日本ヒューレット・パッカード 個人情報保護対策室 室長
(併任)内閣官房 情報セキュリティ指導専門官

社外活動

JIPDEC プライバシーマーク運営要領改正委員会 委員

(社)コンピュータソフトウェア協会 プライバシーマーク審査判定委員会 委員

JIPDEC ISMS適合性評価制度技術専門部会 委員

杉並区 住基ネット運用監視委員会 委員

2010年11月20日

Copyright 1995-2010 佐藤慶浩

スライド 2

背景

yoshihiro.com

(お話を聞いて佐藤が仮定している内容)

適切な医療行為について、ITシステムにログを残していても、医療結果が期待どおりでないと、ログを改ざんされていると疑われる。

ログに不適切な行為の記録があれば不利な証拠になり、行為が適切なときは、ログの改ざんを疑われてしまうのであれば、ログ記録は百害あって一利なしになると思われる、ログ記録の必要性の理解を妨げている。

改ざんされないログの取り方があるなら、それを知って、ログ記録の必要性を訴求したい。

2010年11月20日

Copyright 1995-2010 佐藤慶浩

スライド 3

本日のご紹介

yoshihiro.com

(前スライドの仮定が正しいとして・・・)

- ・フォレンジック結果への2つの期待
- ・行為の記録を改変する動機と疑惑
- ・改変を防ぐ局面
- ・改変を防ぐ仕組みの例
- ・技術革新は「わがまま」から生まれる
- ・人・プロセス・技術で「わがまま」を叶える

2010年11月20日

Copyright 1995-2010 佐藤慶浩

スライド 4

フォレンジック結果への2つの期待 yoshihiro.com

- 不正行為があったことの確認
と
- 不正行為がなかったことの確認

不正だけではなく、不適切な行為も含むが、ここでは便宜上「不正行為」と書くことにする。

一般的に、「ないことの確認」は、「あることの確認」よりも困難なことです。
それについては、デジタルフォレンジックでも同様です。

ただし、どちらの場合でも、「行為の記録を改変できない仕組み」が求められます。

2010年11月20日 Copyright 1995-2010 佐藤慶浩 スライド 5

行為の記録を改変する動機と疑惑 yoshihiro.com

- 実際に、不正行為があった場合
不正行為の記録を改変する動機は、あり得る。
- 実際には、不正行為がなかった場合
不正行為のない記録を改変する動機は、本来ない。
つまり、ないはずの不正行為の記録を作ることはない。
(誰かを、おとしめるという動機ならば、あり得るが)

行為の記録を改変したという疑惑を受けることはあり得る。しかし、この場合、実際には不正行為はないので、無実の疑惑に過ぎない。

2010年11月20日 Copyright 1995-2010 佐藤慶浩 スライド 6

改変を防ぐ局面 yoshihiro.com

行為の記録の改変を、どの場合に防ぐのか？

不正行為をしていない場合に備えるには、「不正行為がなかったことの証明」が必要と考えがち。
しかし、「ないことの証明」は困難。
そこで・・・

不正行為をしている場合に、行為の記録を改変できない仕組みを徹底することを考える。
その信頼性が高まれば、
不正行為の記録がない → 不正行為がなかった
という図式を組みやすくなる。

2010年11月20日 Copyright 1995-2010 佐藤慶浩 スライド 7

改変を防ぐ仕組みの例 yoshihiro.com

データアクセス制御方式の種類

- 任意型アクセス制御 (DAC: Discretionary Access Control)
- 強制型アクセス制御 (MAC: Mandatory Access Control)

ここから、しばらく技術的な話しをしますが、技術的に深く理解する必要はありません。

2010年11月20日 Copyright 1995-2010 佐藤慶浩 スライド 8

任意型アクセス制御

yoshihiro.com

極秘

秘

非機密

(秘) へのアクセス
権限のある人

2010年11月20日 Copyright 1995-2010 佐藤慶浩 スライド 9

The diagram illustrates discretionary access control (DAC). On the left, three light blue boxes represent security levels: '極秘' (Top Secret) at the top, '秘' (Secret) in the middle, and '非機密' (Unclassified) at the bottom. To the right, a person icon is shown. Two light blue arrows point from the '秘' box to the person, and one light blue arrow points from the person back to the '秘' box. Text above the person reads '(秘) へのアクセス権限のある人' (Person with access rights to Secret). The slide footer contains the date '2010年11月20日', copyright 'Copyright 1995-2010 佐藤慶浩', and 'スライド 9'.

任意型アクセス制御

yoshihiro.com

極秘

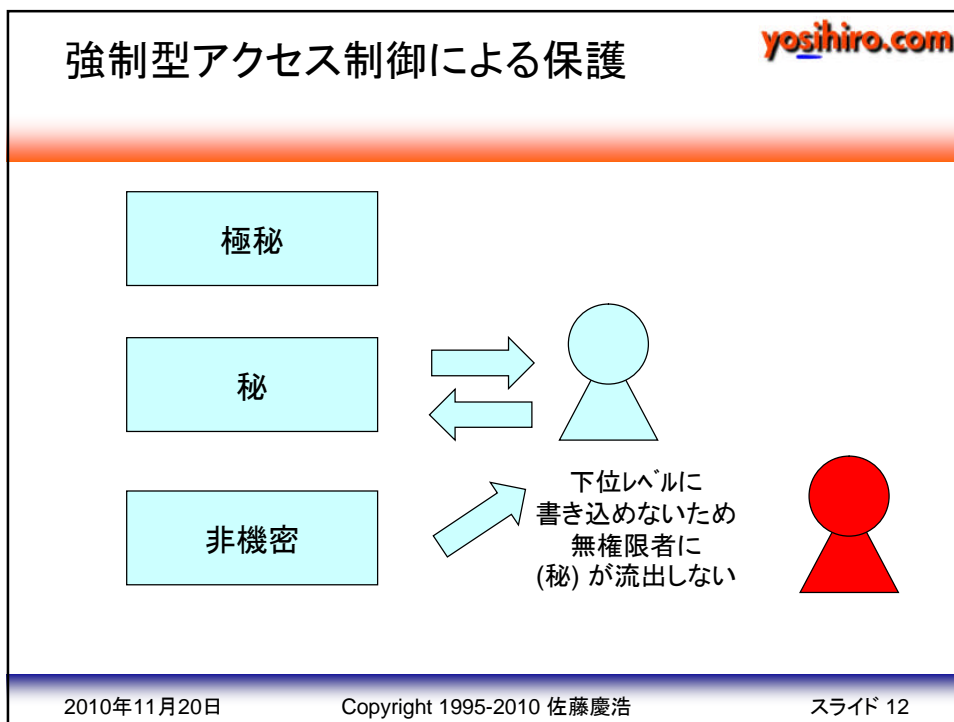
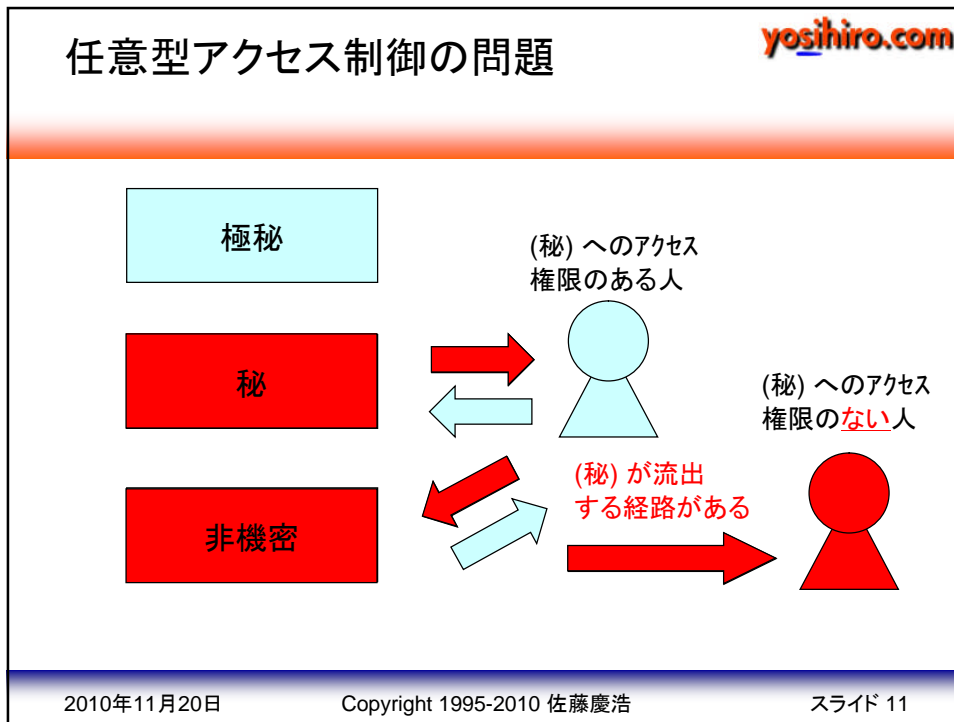
秘

非機密

(秘) へのアクセス
権限のない人

2010年11月20日 Copyright 1995-2010 佐藤慶浩 スライド 10

The diagram illustrates discretionary access control (DAC) for a person without access. On the left, three light blue boxes represent security levels: '極秘' (Top Secret) at the top, '秘' (Secret) in the middle, and '非機密' (Unclassified) at the bottom. To the right, a person icon is shown. A light blue arrow points from the '秘' box to the person, but it is crossed out with a red circle and a diagonal slash. Another light blue arrow points from the person back to the '秘' box. Text above the person reads '(秘) へのアクセス権限のない人' (Person without access rights to Secret). The slide footer contains the date '2010年11月20日', copyright 'Copyright 1995-2010 佐藤慶浩', and 'スライド 10'.



強制型アクセス制御による保護

yoshihiro.com

極秘

秘

非機密

DATA FLOW CONTROL

2010年11月20日 Copyright 1995-2010 佐藤慶浩 スライド 13

データフロー制御 機密性保護に利用する場合

yoshihiro.com

データフローを一方向に制御することで機密性を守ること（機密を外に出さないこと）ができます。

極秘

秘

非機密

DATA FLOW CONTROL

2010年11月20日 Copyright 1995-2010 佐藤慶浩 スライド 14

強制型アクセス制御による保護

yoshihiro.com

監査証跡は追記専用のため変更が不可能

2010年11月20日 Copyright 1995-2010 佐藤慶浩 スライド 15


データフロー制御 完全性保護に利用する場合

yoshihiro.com

データフローを一方向に制御することで完全性を守ること（変更されないようにすること）ができます。

DATA FLOW CONTROL

2010年11月20日 Copyright 1995-2010 佐藤慶浩 スライド 16

技術革新は「わがまま」から生まれる 


必要な機能を要求することが大切

何をお伝えしたかったかというと...

ここから、しばらく技術的な話しをしますが、技術的に深く理解する必要はありません。

ここで紹介したIT製品の機能は、利用する側からの要求で用意された機能です。
既製のIT製品の機能の限界で、ITを利用した業務の限界を考えるのではなく、欲している業務を実現するために必要な機能をITに要求してください。
これまでのITの技術革新は、そんな「わがまま」から生まれています。
例) 携帯電話機でウェブが見たい。メールがしたい。

2010年11月20日 Copyright 1995-2010 佐藤慶浩 スライド 17

人・プロセス・技術で「わがまま」を叶える 

IT製品に使われたい気持ちが大切

ITを利用した業務を構築するときに、
ITの知識は、IT屋が持っていればよい。

「そんなことは、できない」と言うIT屋は信用しない。
実現するための、条件や制約を教えてくれるIT屋と付き合い合うことが必要。
条件や制約の対応を、IT屋と一緒に考えればよい。

人の課題、プロセスの課題、技術の課題を、
それぞれ紐解いてゆけば、
できないことは(ほとんど)ない。

2010年11月20日 Copyright 1995-2010 佐藤慶浩 スライド 18

「わがまま」の練習 yoshihiro.com
管理者による改変からの保護

デュアルロック ※管理権限とセキュリティ権限は排他的にしか獲得できない

```
graph TD; S[セキュリティ権限] -- "権限群変更&初期権限群設定" --> A1[セキュリティ権限なしのアカウント群]; M[管理権限] -- "権限群変更" --> A2[セキュリティ権限ありのアカウント群]; S --- AC[アカウントの作成&削除]; M --- AC; AC --> A2;
```

2010年11月20日 Copyright 1995-2010 佐藤慶浩 スライド 19

「わがまま」の練習 yoshihiro.com
工場～製品納入経路での改変からの保護

トラステッド・ディストリビューション

- ・製品出荷時の管理アカウントのパスワードを固定
- ・アカウントのパスワード使用有効回数を1回に設定

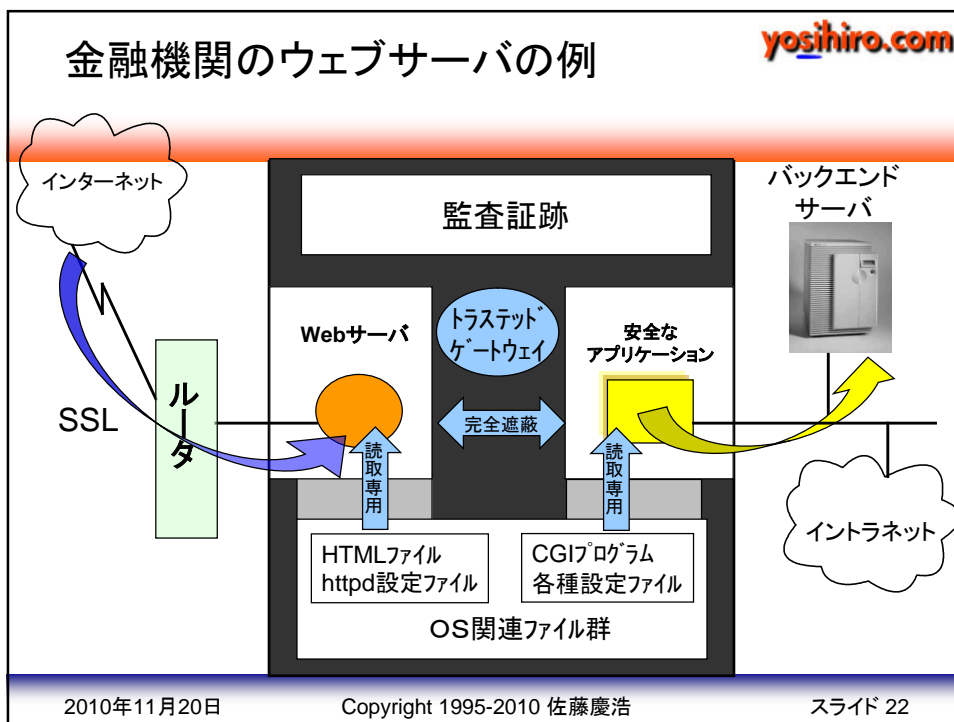
2010年11月20日 Copyright 1995-2010 佐藤慶浩 スライド 20

yoshihiro.com

参考:
第三者機関によるセキュリティ評価・認証

ISO/IEC 15408

2010年11月20日 Copyright 1995-2010 佐藤慶浩 スライド 21



まとめ yoshihiro.com

- ・フォレンジック結果への2つの期待
- ・行為の記録を改変する動機と疑惑
- ・改変を防ぐ局面
- ・改変を防ぐ仕組みの例
- ・技術革新は「わがまま」から生まれる
- ・人・プロセス・技術で「わがまま」を叶える

紹介内容については、以下のコラムで基本的な考え方を寄稿してあります。
本日は、これの具体的な内容を紹介しました。

IDF研究会 第105号コラム「デジタルデータの改ざん防止とその保証」
<http://www.digitalforensic.jp/expanel/diarypro/diary.cgi?no=234&continue=on>
又は
<http://bit.ly/aVcPIB>

2010年11月20日 Copyright 1995-2010 佐藤慶浩 スライド 23

yoshihiro.com

本日資料のダウンロード
<http://yoshihiro.com/speech/#2010-11-20>

お問い合わせ

http://twitter.com/4416_310

2010年11月20日 Copyright 1995-2010 佐藤慶浩 スライド 24